



戦後愛媛のイノベーション30選

日本キャリア工業の スライス革命で 省力化を実現した 食肉スライサー



第 21 回 四国産業技術大賞『産業振興貢献賞』を受賞した (平成 29 年)。スーパー各社のプロセスセンター向けの大型機械を中心に「食品業界のニーズを捉え、その求める以上のものを作り続けたい」との目標で、「値段は 10 倍、持ちは 100 倍」のキャッチフレーズで大ヒットした。作業者の安全を確保するなど使用者のニーズに的確にヒットしたことから、売り上げの 30% を占める代表製品となっており、メンテナンス用のバンドナイフも内製化することで事業拡大を果たしている。また、全国の機械振興協会において会長賞を 2 回受賞している。(平成 16、30 年)